

学習プログラム「アフリカゾウマスター」 教員用解説シート

対象動物	アフリカゾウ
場所	ゾウ舎内またはアフリカゾウ（オス側）屋外展示場前
内容	
導入 ゾウの祖先の姿を見てもらい、長い年月を経て進化することで、ゾウの体の形が変化してきたことを知る。	
展開 祖先の姿から進化してきた部位がどのように役立っているのか、また他の種類の動物と違った特徴を持つ部位について解説する。	
(1) 鼻 [特徴] 骨はなくすべて筋肉でできている。人間の手のような働きをする。柔軟で力持ち。 ・匂いを嗅ぐ…嗅覚が鋭い。仲間の匂いなどを嗅ぎ分け、ゾウ同士でコミュニケーションを取る。 ・つまむ …鼻先の上下に突起があり、物を掴むのに優れる。 ・巻きとる …時には太い木などに鼻を巻き付け、牙も使いながら倒す。こうしてゾウが作る道は他の野生動物が使う道にもなる。 ・吸い込む …細かいエサや水を鼻で吸い込み口に運ぶ。一度に溜められる水は約 10L。	
(2) 耳 [特徴] 薄くて大きい。前後によく動かすことができる。 ・音を聞く …外耳がパラボラアンテナの役割を果たす。 ・体温調節する…耳を前後に動かし裏に風を当てることで耳の血管を流れる血液を冷やす。 ※ちなみに動物園では耳の裏の血管から採血をしている。 ・威嚇する …耳を大きく広げて自分を大きく見せることで相手を威嚇する。 驚いた時も広げる。	
(3) 歯 [特徴] 楕円形の奥歯が生えており、食べ物をすりつぶす。 ※動物園での食べ物は乾草、ペレット、ヘイキューブ、リンゴやニンジンなど。	
(4) 牙 [特徴] 切歯が伸びたもので、一生伸び続ける。闘争にも使われるが、地面に穴を掘ったり木を倒すのにも使われる。	
(5) 足 [特徴] 重い体を支えるために足裏がパッド状になっている。骨の仕組みとしてはつま先立ちをしており、かかとに脂肪の層があることで、衝撃を吸収している。	
ふりかえり・まとめ 実物を見ながらゾウの体の特徴のふりかえり。ゾウの体がもつ能力のすごさについて感じてもらう。他の動物を観察する時も、体の特徴を発見すると、能力を連想したり、理解したりできるということを知らしてもらう。	